

# ジェスカズガン市の強制収容所跡における日本人死亡者慰霊碑の建立

(2024年5月31日)

毎年5月31日はカザフスタンの「政治的抑圧・ホロドモール犠牲者追悼日」にあたります。本年山田大使はウルタウ州ジェスカズガン市にあるスターリン時代のケンギル強制収容所跡を訪問し、1954年に発生した収容者による大規模な反乱とソ連当局による残虐な鎮圧から70年となることを記念する追悼式典に参加するとともに、この度カザフスタン日本人会や有志企業の方々の浄財により新たに建立された日本人死亡者慰霊碑の除幕を行いました。式典にはこれら企業の代表に加え日本からも関係者の方々が参列され、従来の日本政府や抑留者団体・戦友会によるものとは別に現在カザフスタンに駐在するの方々の意志で建立された、おそらく初の慰霊碑の完成を見届けました。

この日、市郊外にある国際メモリアル・コンプレクスにはカザフスタン関係者の他、当時収容者中で最大のグループを形成していたリトアニアとウクライナ本国からも議会関係者を含む多数が来訪して献花・黙祷を行い、現在再び首をもたげた全体主義の毒牙と闘っているウクライナへの連帯と支持を共に確認する機会となりました。

昨年3月に首都アスタナで建立された国全体を代表する日本人死亡者慰霊碑の際と同様に、今回もカザフスタン側からは精神・物質の両面で、強い共感と支持が示されました。国家をあげて過去の歴史の教訓を守り将来世代に伝えようとするカザフスタン政府・国民の高貴な姿勢は正に今日の世界において最良の範となるものであり、深甚なる敬意を表します。また、新たな慰霊碑の建立にあたり終始全面的に支援頂いた在カラガンダ・リトアニア名誉総領事にも、あらためて感謝申し上げます。





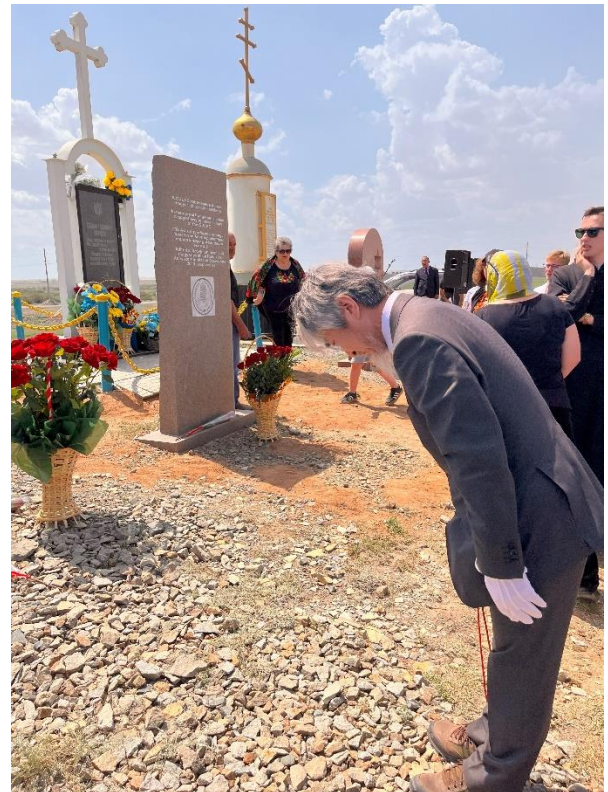
山田大使とイドゥルスフ副知事による除幕



完成した日本人死亡者慰霊碑



慰霊碑裏面の献辞



隣接する各国慰霊碑群



日本から参列したメンバー



リトアニア・ウクライナ・カザフスタン・日本の各代表



黒澤崇氏(父君の嘉幸氏がケンギル反乱を目撃し著書を遺された)による追悼ラッパの吹奏



ケンギル収容所跡地の慰霊碑



生き残った収容者による証言



懲罰房跡



女囚が収容されていた区画の内部



日本人抑留者による建物①（カザフスタン最大手の鉱山企業の社屋）



日本人抑留者による建物②（市中心部にある劇場）